

| | |
|------------------------|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 基準日 | 定時株主総会 3月31日 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日(当事業年度の中間配当の予定はございません) |
| 公告の方法 | 電子公告により、当社ホームページ(http://www.fujipream.co.jp)に掲載いたします。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合には、日本経済新聞に掲載いたします。 |
| 株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同連絡先 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話0120-094-777(通話料無料) |

ご注意

- 1 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
- 3 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

フジプレアムと社会を結ぶ情報誌

PRE【プレ】

フジプレアムの「プレ」は、「先駆ける」、「アム」は「存在」という意味が込められています。この「プレ」をタイトルにした株主通信は、株主の皆様へ適切な経営情報を先駆けてお届けし、フジプレアムと社会との関わりを分かりやすくお伝えするとともに、当社が誇る技術や将来性などをご紹介してまいります。



CSR最前線 特別対談【日本ユニセフ協会&姫路こころの事業団】

世界のため、地域のため、
幸せな明日のために、できることを一つひとつ。

不可能への挑戦

フジプレミアムは「不可能への挑戦」を掲げ、未来を切り開く研究開発型企业です。

経営ビジョン

フジプレミアムは、精密貼合技術を活かし、新たな価値を創造する素材メーカーを目指します。



社名への誓い

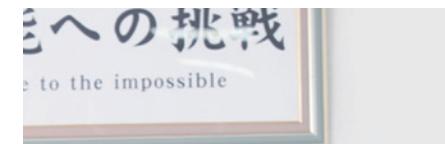
"FUJI(不二)" 2つにあらず、
"pre" 先駆けて、"am" 存在する企業でありたいと、
常に「不可能への挑戦」を心がけています。



光都工場

光都PV工場

100年先の暮らしを照らすため、自らに与えられた使命を果たす。
「共存・共生・共産」の理念で、住みよい社会づくりを目指します。



経営理念

「人」は「財」なり、「財」は「人」作りなり
創意、継続は大いなる「財」なり
自然は大いなる「恵」なり。
全てに対して大いなる「感謝」



株主・投資家の皆様には、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より、フジプレミアムグループの事業につきまして格別のご理解とご
支援を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに第29期(平成23年3月期)
第2四半期報告書をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

現在、わが国の経済は中国をはじめとする新興国の需要拡大などに
より牽引され緩やかではありますが低迷していた景気は徐々に持ち直
しつつあります。しかし、米国の景気回復の遅れやヨーロッパの財務問題、
急激な円高など先行き不透明な状況が続いております。

それに対し、当社グループは生産体制の効率化、事業のスリム化を
行った結果が、ようやく実りを結ぶ状況となってまいりました。

また、当社グループでは、CSR(企業の社会的責任)活動の一環とし
て、社会貢献や環境への配慮を推進しております。平成19年10月から
開始した財団法人日本ユニセフ協会への募金に始まり、地元NPO法人
への寄付、近隣小・中学校への標語掲示支援などを行っています。当社
グループは、従業員も賛同し、事業利益を社会に還元していくことが、
事業を継続するうえで必要不可欠と考えております。

常に次の時代に企業はどうあるべきかを考え、環境関連ビジネスに
も取り組んでまいります。

今後とも、あたたかいご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い
申し上げます。

代表取締役社長 松本 實藏

世界貢献編

フジプレミアム

日本ユニセフ協会



財団法人日本ユニセフ協会 兵庫県支部 事務局長 福井康代 様
財団法人日本ユニセフ協会 兵庫県支部 会長 竹本成徳 様
フジプレミアム IR・広報部長 大川

世界のため、地域のため、 幸せな明日のために、できることを一つ ひとつ。

を持ってユニセフに届けています。

大川：具体的に募金はどのような形で役立てられているのでしょうか。

福井：ユニセフにより予防接種や乳幼児の病気対策、HIV対策、文房具や生活用品の支給などに使われています。例えば、汚染された水を飲んでしまい、急性の下痢に苦しんでいる子どもたちを脱水症状から救う、経口補水塩なら1袋約7円。わずか10円足らずのお金で子どもたちの命を救うことができます。また、モノでの支援だけでなく、「予防と自立」を大切に支援活動を行っております。

竹本：御社の毎月10万円を超える募金がいかに大きな力になっているかお分かりいただけると幸いです。現在、CSR活動の一環として、さまざまな企業様にご協力い



大川：本日はお忙しい中、お越しいただきありがとうございます。

竹本：こちらこそ、いつもありがとうございます。御社が私たち日本ユニセフ協会へ寄付して下さるようになって、もう3年になりますね。賛同いただいている企業様のもとへ出向いて対談するのははじめてのことなのですが、今日はそのお礼を申し上げたくて参りました。

大川：私個人としても日本ユニセフ協会

様の活動内容に興味をもっていたので、嬉しく思っております。さっそくですが、今一度日本ユニセフ協会様の活動内容をご説明いただけますか。

竹本：私たち日本ユニセフ協会は、世界の150以上の国や地域で、子どもたちの生存・保護・発達を擁護する国連の機関であるユニセフの活動を支える財団法人として活動しています。日本全国から善意の募金を集め、東京本部を介して、責任

ただける機会が増えているのですが御社の場合は何がきっかけになったのですか？

大川：企業が取り組む社会貢献の中で、募金であれば全社員が参加できる、と思ったのがきっかけです。しかも、ユニセフなら自分の募金がどんな形で役立っているのかが分かりやすい。今の若い世代は社会貢献したいという想いは持っているものの、その手段が分からないという人が多いのです。そこで自分の給与の中から募金できるシステムを会社が整えたわけです。

社員が世界の現実を知る貴重な機会。 つながりを強化し、息の長い支援活動をこれからも。

竹本：現に募金活動を通じて社員のモチベーションが上がり、生産効率が向上したという実例もあります。

大川：今後、そのような側面も期待できるかもしれませんね。でも、ビジネス抜きにして、こうしたお話を伝えるだけでも、社員の意識は大きく変わると思います。普段、あまり外に目を向けられない私たちが世界の現実を知ることができる。せっかく、こういう接点があるのならしっかり勉強させてい

フジプレミアムは社会に広く貢献できる企業を目指しCSR活動を推進しています。その一環として、「日本ユニセフ協会」と「姫路こころの事業団」へ社員自らが給与の一部を募金し、寄付しています。今回は特集として、弊社IR・広報部長の大川が各団体の皆さまと対談いたしました。



ただいて、人間として、社会人としての厚みをもっと培ってもらえればと思います。

福井：実際に学習会や報告会、パネル展

の開催なども行っているのですが、そちらにご参加いただくことも可能ですし、社員の皆様にボランティアスタッフとしてご協力いただくことも可能です。例えば、毎年12月23日にはハンドインハンドという名称で街頭募金活動を行っており多くの企業様にご協力いただいています。姫路の場合、山陽百貨店前で実施しているのですが、一般の方も含め、皆さん非常に熱心ですよ。

大川：それは地元の企業として誇らしい

ですね。私たちも社内で告知したいと思います。姫路はローカルですが、そのローカルな姫路が世界とつながるというのも面白い。日本はこれまで都会化を目指し、その結果、地方は疲弊してしまいました。しかし、これからはもう一度ローカルが注目される時代がやってくると思っています。そして、それを実現するには国や政府ではなく、私たち地方の企業や日本ユニセフ協会様のような団体の力が重要になってくるに違いありません。その先に成熟した先進国の形があるような気がしています。

竹本：株主の皆さまも応援している企業が、このような高い意識のもとに日々活動しているのを知り、誇りに思われることでしょう。私たちユニセフはその場限りの支援ではなく、日々生まれ、成長する子どもたちを支える息の長い支援活動を行っています。ぜひとも御社にも継続してご支援いただけますようお願いしております。

大川：私たちも今一度ユニセフの活動の意義について理解を広めていきたいと思えます。今後ともよろしく願いいたします。本日は、ありがとうございました。 (敬称略)



フジプレミアム
IR・広報部長 大川

NPO法人 姫路こころの事業団
理事長 濱中美喜子様

NPO法人 姫路こころの事業団
副理事長 三好衣子様



抱え、不登校や就業困難に陥っている「ひきこもり」状態となった方を、さまざまな心と身体の両面からのケアをしながら、自分で納得できる生活ができるよう応援する活動を行っています。

三好：本来「ひきこもり」状態になるには、心の問題が大きいのですが、周囲はそれを無視して、頭がおかしくなると決めつけ、病院に連れて行ってしまいます。そして、きつい薬を処方され、飲み続けるうちに薬物依存に陥ってしまうケースが多いのです。私たちの場合は、まず心の原因を探り、心を開いてもらいながら、心を豊かにしていくことに力を入れています。

大川：なるほど。私自身、一社会人として心の問題には非常に関心があります。どのようにして心を豊かにしていくのでしょうか。

三好：私たちは芸術活動、中でも言語造形という心の治療に効果のある芸術を取り入れています。心身に重荷を抱えた人たちは、もともと言葉を発したい、誰かに聞

大変お世話になっております。

大川：私たちが寄付をはじめから1年以上が経ちますが、今一度、姫路こころの事業団様の活動内容についてお話しただけですか。

濱中：設立自体は2003年の6月、民間団体として発足。2009年4月にNPO法人として認可されました。現在は心身に重荷を

心に傷を負った方に居場所を提供し、社会復帰を支援。

大川：本日はお越しいただきありがとうございます。私自身はお会いするのははじめてですが、弊社社長の松本とのおつきあいは長いそうですね。

濱中：おかげさまで、私の主人とその父の旧知の間柄でいらっしゃるということと、三好がフジプレミアム様の社名をお手伝いさせていただいたこともあり、社長様には

言葉を芸術として表現し、心の治療に役立てる。 プラスアルファの活動に、募金が大きな力となっている。



いてもらいたいという気持ちはもっているものです。そこで通常理屈で考えがちな言葉を芸術として表現し、言葉が持つ本来の力を発揮させ、心の治療に役立てるのです。言葉の意味を体現するために体を動かしたりもしますが、最後は体を動かさなくても活き活きとした言葉を発することができるようになります。

濱中：御社からの寄付金を、こうした治療的効果のある活動に使わせていただいています。姫路市から地域活動支援センターとしての認可も受けており、支援金もいただいています。それだけでは団体を維持するだけでやっと。プラスアルファの活動するには御社のような第三者の支援が必要なのです。

大川：実は現在、あらゆる企業で問題になっているのですが、若い世代で精神を病

む方が増えています。いわば我々にとって身近な問題なわけです。そんな身近な問題の解決のために、私たち社員が自由意志で行った募金が活かされているというのは非常に嬉しいですね。社長の松本がよく口にする言葉に「働いてやっているではなく、働かせてもらっていると思わない」というものがあります。これは何もへりくだれということではなく、働ける場所がある、働ける状況にあるということがどれだけ恵まれているか、考えなさいということなのです。今一度、その意味を噛みしめないといけませんね。

濱中：そう言っていただくと本当にありがたいですね。私たちは就労の支援も行っていますが、心身に重荷を抱えた人たちは週に1時間、職場という緊張感のある環境に身を置くだけで、とてつもないエネルギーを消費してしまい、回復にまた1週間かかってしまいます。確かに非効率ですが、しかし彼らはその代わりに抜群の感性を持っています。少しでも社会や企業が彼らの感性に興味を持ってもらえたら、と願います。

大川：これからの日本は、そこを目指さな

いとイケないのかもしれませんが、今はまだ難しいかもしれませんが、一つの形が見えた時に新たな展開が期待できるでしょうね。本当の意味で世界から尊敬される国になれると思います。それにしても、言葉を芸術ととらえて心の治療に活かすということは非常に面白いと思いましたが、そういうことが可能なのだなと感心させられました。

三好：私も落語に挑戦するようになったのですが、本当に楽しいです。これを機にぜひ、御社の社員様にも参加を呼びかけてみてください。

大川：こちらこそ、ぜひ検討させてください。今回はたくさんの気付きのあるお話を本当にありがとうございました。今後も、同じ姫路を拠点に活動するもの同士、互いにサポートし合えたらと思います。よろしくお願ひします。

(敬称略)





地域貢献編

第20回フジプレミアム納涼祭を開催



みんなで楽しみながら、
地域の人々とふれあう

フジプレミアムでは、社会貢献として、地域に根差した活動を大切にしています。

近隣住民の皆様や従業員の家族を招待する「納涼祭」も、今年はや20回目を迎えました。プランを考えるとこころから、当日のおもてなしまで従業員がスタッフとなります。

今年の納涼祭のメインイベントは事業部対抗「大縄跳び大会」です。小さなお子様も興味津々で、一緒にタイミングで縄跳びの練習をしたりと、盛り上がりました。

また、去年の10月から開始した住宅用太陽光発電システムの販売ですが、より太陽光発電についての知識を持ってもらおうと、紹介コーナーを設けました。太陽光発電をこれからつけたい方には絶好の機会となったのではないのでしょうか。

今後も、こういう機会を大切に、フジプレミアムを知ってもらったり、楽しんでもらう催しを続けてまいりたいと考えております。



近隣住民の皆様や従業員の家族に楽しんでもらうため、飲み物や食べ物を無料で提供しています。



大盛り上げの事業部対抗「大縄跳び大会」

納涼祭当日プログラム

- 17:30 ● 司会者挨拶、プログラム・ゲームの紹介等
- 17:40 ● バンド演奏「アロハシグナルズ」
- 18:10 ● 事業部対抗「大縄跳び大会」
- 18:50 ● フジプレミアムの太陽光発電システムの紹介
- 19:10 ● 豪華景品を当てよう！「ビンゴゲーム大会」
- 19:55 ● 役員挨拶、
- 20:00 ● 司会者終了挨拶



太陽光発電システムの紹介

トピックス Topics

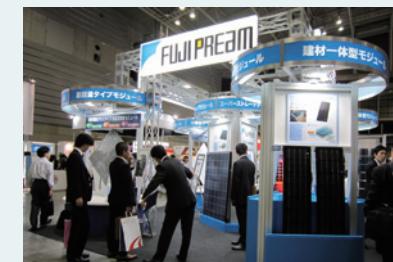
TOPICS 01 デュポン株式会社との「共同記者発表会」開催

6月28日(月)、フジプレミアムはデュポン株式会社と軽量太陽電池パネルを新規開発したことを受け、共同記者発表を行いました。この太陽電池パネルは両面薄型ガラス構造を採用し、基幹部品であるセルを包む材料に、デュポン株式会社の樹脂製封止材を使用しています。これをフジプレミアムがモジュール化することにより、従来の結晶系シリコン太陽電池に比べて約25%の軽量化となりました。



TOPICS 02 太陽光発電の総合イベント「PV JAPAN 2010」に出展

6月30日(水)から7月2日(金)にパシフィコ横浜で行われた太陽光発電の総合イベント「PV JAPAN 2010」に出展しました。デュポン株式会社と共同で取り組んだ「軽量太陽電池パネル」のほか、フジプレミアムの独自性をアピールする太陽電池モジュールを数多く出展しました。



2010 6 JUNE

8 AUGUST

10 OCTOBER

TOPICS 03 第20回フジプレミアム納涼祭を開催

8月7日(土)、例年以上に暑いなか、第20回目となるフジプレミアム納涼祭を開催しました。会場を新たに従業員駐車場に変更し、約1,000名の方のご参加をいただきました。詳細はP7のCSR最・前・線をご覧ください。



TOPICS 04 フジプレ販売株式会社に子会社を統合

10月1日(金)、物流・倉庫業務を行っているフジプレミアム ロジスティクス株式会社を吸収合併によりフジプレ販売株式会社に統合いたしました。これにより、フジプレミアムグループの仕入から物流までの生産一貫体制をフジプレ販売株式会社に集約いたしました。

TOPICS 05 PV工場 新生産ラインが完成

兵庫県たつの市新宮町にあるPV工場に自社開発した新しい生産ラインを導入いたしました。現在、試運転・調整を終え、稼働を開始しております。

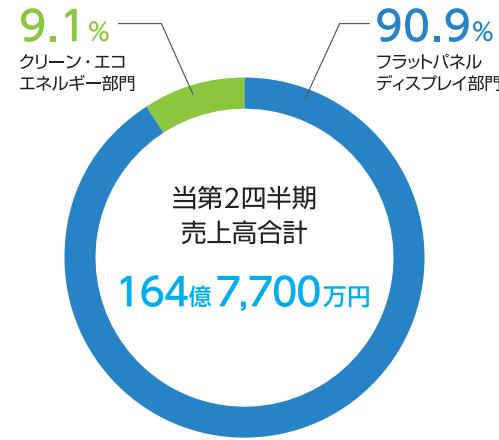


Segment Information

売上高は前年比47%増、第2四半期純利益は9.0%減。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、先進国での経済対策や新興国での市場拡大を背景に、緩やかな回復基調で推移してきたものの、急激な円高の進行や価格競争の激化など先行きの不透明感が高まりつつあります。

このような経済環境のもと、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高16,477百万円(前年同四半期比47.6%増)、営業利益1,037百万円(同55.5%増)、経常利益1,035百万円(同54.7%増)を計上し、四半期純利益は572百万円(同9.0%減)となりました。



フラットパネルディスプレイ部門



第28期第2四半期売上高

101億3,200万円

第29期第2四半期売上高

149億8,300万円

営業利益9億5,300万円確保

フラットパネルディスプレイ市場は、エコポイント制度の変更の影響等短期的な変動を繰り返しながらも、3Dテレビや液晶バックライトのLED化等、新技術等を組み込みつつ成長しております。これに伴い、当部門におきましても、ダイレクトフィルターを含むPDP用光学フィルターの受注増加に加え、LCD用加飾フィルターの需要が拡大いたしました。また、昨年より導入を図っている新型生産ラインの本格稼働により、急激な受注増加に臨機に対応したことで、堅調に売上を伸ばし、業績の向上に貢献いたしました。この結果、売上高14,983百万円、営業利益953百万円となりました。

クリーン・エコエネルギー部門



第28期第2四半期売上高

7億3,100万円

第29期第2四半期売上高

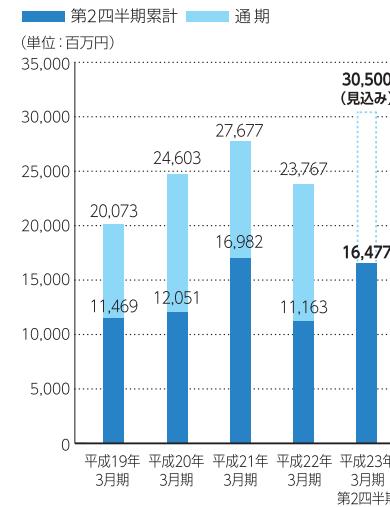
14億9,400万円

営業利益6,200万円確保

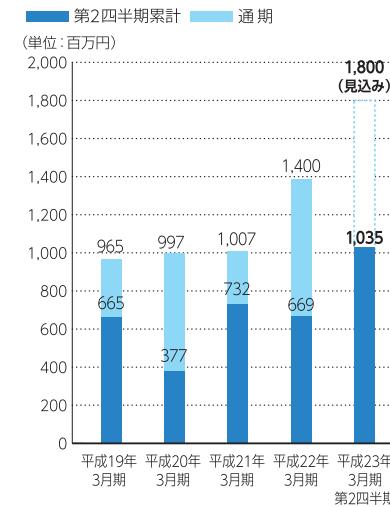
当部門につきましては、昨年に引き続いて、国内住宅向けに太陽光発電システムの受注が増加したことに加え、スクール・ニューディール政策における学校への太陽光発電システムの導入が業績の向上に貢献いたしました。今後は、現在取り組んでいる自社構築による新型生産ラインが稼働予定であり、より競争力のある製品の供給を開始し、販売量の拡大を図ってまいります。この結果、売上高1,494百万円、営業利益62百万円となりました。

Financial Highlight

売上高



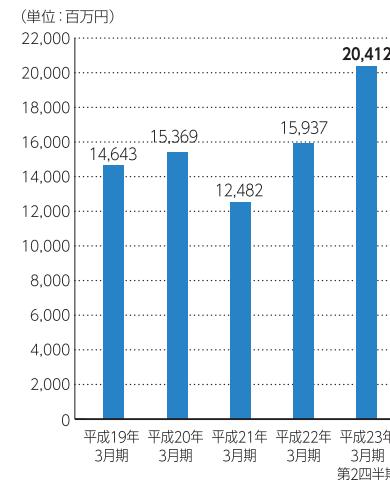
経常利益



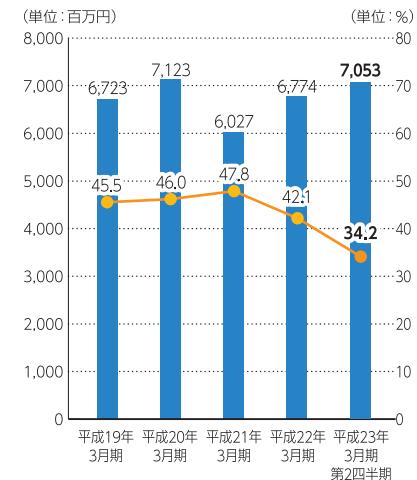
純利益



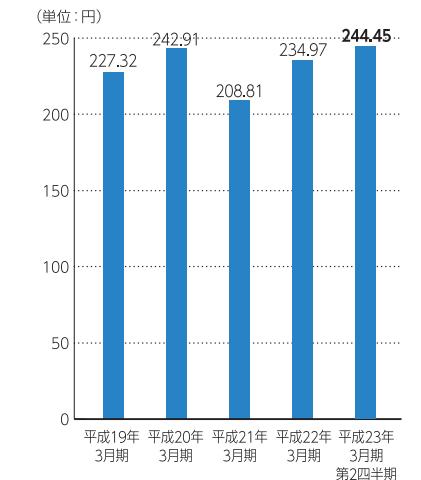
総資産



純資産・自己資本比率



一株当たり純資産



第2四半期 連結貸借対照表

(単位:千円)

| 科 目 | 当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日) | 前連結会計 年度末 (平成22年3月31日) |
|-----------|-----------------------------------|------------------------------|
| 流動資産 | 13,237,717 | 8,857,488 |
| 現金及び預金 | 4,988,947 | 3,845,683 |
| 受取手形及び売掛金 | 6,927,384 | 3,238,125 |
| 商品及び製品 | 562,654 | 901,352 |
| 仕掛品 | 251,144 | 440,986 |
| 原材料及び貯蔵品 | 375,204 | 319,264 |
| その他 | 138,614 | 118,102 |
| 貸倒引当金 | △ 6,232 | △6,025 |
| 固定資産 | 7,174,446 | 7,079,780 |
| 有形固定資産 | 6,946,949 | 6,832,190 |
| 無形固定資産 | 3,642 | 3,778 |
| 投資その他の資産 | 223,854 | 243,811 |
| 資産合計 | 20,412,164 | 15,937,269 |

(単位:千円)

| 科 目 | 当第2四半期 連結会計期間末 (平成22年9月30日) | 前連結会計 年度末 (平成22年3月31日) |
|---------------|-----------------------------------|------------------------------|
| 流動負債 | 9,485,370 | 6,300,316 |
| 支払手形及び買掛金 | 5,080,039 | 2,299,468 |
| 短期借入金 | 2,150,144 | 2,213,092 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 1,503,697 | 916,579 |
| 未払法人税等 | 409,738 | 423,118 |
| 賞与引当金 | 25,050 | 23,847 |
| その他 | 316,700 | 424,211 |
| 固定負債 | 3,873,561 | 2,862,010 |
| 長期借入金 | 3,772,853 | 2,728,821 |
| 退職給付引当金 | 2,920 | 1,828 |
| その他 | 97,788 | 131,360 |
| 負債合計 | 13,358,931 | 9,162,326 |
| 株主資本 | 6,980,524 | 6,693,544 |
| 資本金 | 2,000,007 | 2,000,007 |
| 資本剰余金 | 2,440,803 | 2,440,803 |
| 利益剰余金 | 3,403,546 | 3,116,567 |
| 自己株式 | △ 863,833 | △863,833 |
| 評価・換算差額等 | 4,740 | 20,745 |
| 少数株主持分 | 67,967 | 60,652 |
| 純資産合計 | 7,053,232 | 6,774,942 |
| 負債純資産合計 | 20,412,164 | 15,937,269 |

第2四半期 連結損益計算書

(単位:千円)

| 科 目 | 当第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで) | 前第2四半期 連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで) |
|-----------------|---|---|
| 売上高 | 16,477,620 | 11,163,428 |
| 売上原価 | 14,864,854 | 9,926,997 |
| 売上総利益 | 1,612,765 | 1,236,431 |
| 販売費及び一般管理費 | 575,016 | 569,084 |
| 営業利益 | 1,037,748 | 667,346 |
| 営業外収益 | 60,605 | 42,294 |
| 営業外費用 | 62,631 | 40,305 |
| 経常利益 | 1,035,722 | 669,335 |
| 特別利益 | 206 | — |
| 特別損失 | 119,375 | 48,781 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 916,553 | 620,553 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 341,867 | 99,399 |
| 法人税等調整額 | △737 | △105,019 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | 575,423 | — |
| 少数株主損益 | 2,693 | △3,130 |
| 四半期純利益 | 572,730 | 629,303 |

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

| 科 目 | 当第2四半期 連結累計期間 (平成22年4月1日から 平成22年9月30日まで) | 前第2四半期 連結累計期間 (平成21年4月1日から 平成21年9月30日まで) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動による キャッシュ・フロー | 535,717 | 583,485 |
| 投資活動による キャッシュ・フロー | △641,784 | △583,575 |
| 財務活動による キャッシュ・フロー | 1,253,838 | △591,412 |
| 現金及び現金同等物に係る 換算差額 | △4,507 | 414 |
| 現金及び現金同等物の 増減額(△は減少) | 1,143,264 | △591,086 |
| 現金及び現金同等物の 期首残高 | 3,795,683 | 2,636,103 |
| 現金及び現金同等物の 四半期末残高 | 4,938,947 | 2,045,016 |

Profile

会社概要

(平成22年9月30日現在)

| | |
|------------|--|
| 商号 | フジプレミアム株式会社 Fujipream Corporation(英) |
| 本社所在地 | 兵庫県姫路市飾西38番地1 |
| 設立 | 昭和57年4月14日 |
| 代表者 | 代表取締役社長 松本實藏 |
| 資本金 | 2,000百万円 |
| 事業内容 | PDP用光学フィルター関連事業 光学製品関連事業 太陽光発電関連事業 他 |
| 従業員数 | 399名(連結・臨時雇用含む) |
| 営業所及び工場 | 本社 姫路工場 播磨テクノポリス光都工場/研究所/PV工場 東京オフィス |
| 連結対象となる子会社 | フジプレ販売株式会社(設立:平成13年4月) 上海不二光学科技有限公司(設立:平成15年9月) フジプレミアム ロジスティクス株式会社(設立:平成15年10月) |
| 主要取引銀行 | 三菱東京UFJ銀行/みずほ銀行 |

取締役及び監査役

(平成22年9月30日現在)

| | |
|---------|-----------|
| 代表取締役社長 | 松本 實藏 |
| 代表取締役 | 松本 倫長 |
| 取締役副社長 | 松本 守雄 |
| 取締役 | 田頭 未徳 |
| 取締役 | 小河 昌之 |
| 監査役 | 藤田 和也 |
| 監査役 | 片岡 智彦 |
| 常勤監査役 | 松本 毅(社外) |
| 監査役 | 木村 裕史(社外) |

株式の分布状況

(平成22年9月30日現在)

| | |
|--------------|--------------|
| 会社が発行する株式の総数 | 105,000,000株 |
| 発行済株式の総数 | 29,786,400株 |
| 株主数 | 4,947名 |

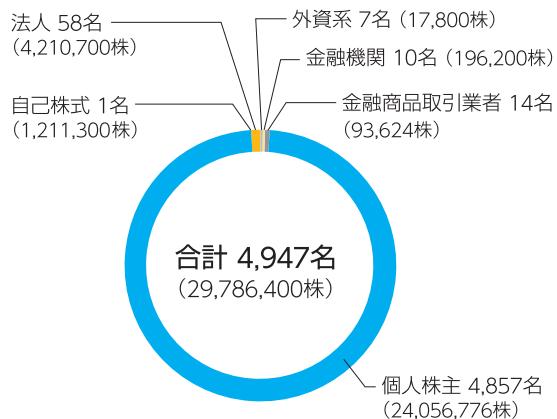
大株主の状況

(平成22年9月30日現在)

| | |
|--------------|-------------|
| 松本 實藏 | 15,130,700株 |
| 松本 庄藏 | 1,854,000株 |
| 東レ株式会社 | 1,560,000株 |
| フジプレミアム株式会社 | 1,211,300株 |
| 旭硝子株式会社 | 936,000株 |
| リンテック株式会社 | 936,000株 |
| ジェイアンドエム株式会社 | 475,500株 |
| 松本 倫長 | 441,400株 |
| 松本 春代 | 360,000株 |
| 松本 守雄 | 330,000株 |

株式分布状況

(平成22年9月30日現在)



HARIMA-TAMBOU

播磨探訪



vol.20 姫路の駅弁

人気ランキング!!

電車の旅の付き物と言えば駅弁。毎回楽しみにしているという方も多いのでは? 新幹線が乗り入れるJR「姫路」駅でも、さまざまな駅弁が販売されており、評判を呼んでいます。ちなみに、これらの駅弁を販売しているのは、B級グルメとしても知られる「まねきそば」の生みの親である「まねき食品」さん。実は、この「まねき食品」さんは、明治22年に日本初の幕の内駅弁を販売した会社で、その内容は鯛の塩焼き、伊達巻等、13種類ものおかずが入った贅沢なものだったそうです。

今回は、そんな「まねき食品」さんのアイデアと播磨地方のおいしい食材がぎゅっと詰まった駅弁の人気ランキング上位5位を発表します!

今度、「姫路」駅を訪れたら、ぜひお買い求めください。



3

【味づくし】 1,100円(税込)

「味づくし」の名前のとおり、瀬戸内産の真たこや、いかなご、黒豆、姫路レンコンといった播磨地方がほころおいしい食材のオンパレード。もちろん味付けにもこだわった、自慢の幕の内弁当です。



2

【あなごめし】 980円(税込)

瀬戸内で捕れたあなごを自慢のタレで煮込み、ズラッと並べました。ダシが効いたご飯との相性も抜群。駅弁大会などの催しものでも飛ぶように売れる、ベストセラ商品です。



1

【但馬牛 牛めし】 1,100円(税込)

生産履歴も発行できるれっきとした但馬牛のお肉をやわらかく炊きあげて、ご飯の上にとっぷりと乗せました。しっかりとした味付けに、思わず箸が進みます。男性を中心に、圧倒的な人気を誇ります。



4

【旨い! たこめし】 930円(税込)

明石産の生たこを大根でたたいて柔らかくして、その大根と一緒にじっくり煮込みました。錦糸玉子を敷き詰めただし飯とたこの相性が抜群、食べごたえもあり、たこ好きにはたまらない逸品です。



5

【おかめ弁当】 870円(税込)

いろいろなおかずをトッピングしているところから「おかめ目」のおかめをとって、お弁当の名前に。お得意いっばいの駅弁です。パッケージもユニークで、見た目でも楽しめます。



★★★★
番外編
【元祖 幕の内駅弁】
(期間限定)

イベント時に数量限定で復刻販売される「幕の内駅弁」。当時のメニューを現代風の味付けにアレンジして再現しています。容器や掛け紙にもこだわっています。今後も、購入できる機会があるはずなので、その時はお見逃しなく!